



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2005.2 月号

常設展示替え工事の見学会を実施します！！

皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、常設展示替え工事も軌道に乗り、順調に進んでおります。普段見られない展示工事の裏側を見ていただきたいと企画しました。意外な発見や驚きを体験できるのではないかと思います。この機会を見逃さずにご参加下さい。



●旧展示コーナーを解体したあとに、新しいコーナーの骨組みを立てているところです。最近ではスチールが使われているようです。

●骨組みが完成したあとに、石膏ボードを貼り付けて、基本的な壁ができ上がり、次に壁紙を張ります。



【常設展示工事舞台裏見学会】

日時：2月5日（土）／2月26日（土） 13時～14時
集合：博物館入口玄関
参加：自由
解説：担当学芸員

☆新常設展示の内容紹介☆

新しくなる常設展示の概要をコーナーごとに紹介します。

5. 「相模川のめぐみ」

昭和初期までの相模川は、高瀬船が往来する物流の大動脈であるとともに、アユなどの多くの魚が生息し、投網やコロガシなどの漁が盛んなめぐみの川でもありました。

このコーナーでは古文書や船の模型、川漁のジオラマなどとおして、水運・船・川漁といった相模川と人びとのかかわりあいを立体的に展示しました。かつて人びとがかかわった相模川のめぐみをふりかえり、私たちのこれからの相模川とのかかわりあいを考えていきたいものです。

6. 「くらしと金目川」

丹沢の山から流れる金目川は、平塚の豊かな農業をささえるめぐみの川であるとともに、いくどもの洪水をおこす暴れ川でもありました。

このコーナーではそうした金目川と人びとのかかわりあいを、①「金目川の旅」、②「田んぼに流れる金目川」、③「暴れ川とたたかい」の三つのテーマにわけ、劇場形式で紹介します。どんな劇になるかはお楽しみに!!

7. 「里山の四季」

平塚市西部の土沢地区には、雑木林と谷戸からなる典型的な里山の環境がよく残されています。里山は、耕作、草刈、林の手入れなど伝統的な作業によって保たれてきましたが、そこは多くの生きものの生活する場でもありました。サシバやオオタカ、アオバズクのような猛禽類、カエル、ホタルなどが生き続けていくためにも里山の環境を末長く維持することが欠かせない課題です。ここでは、里山で見られる自然のドラマのいくつかを紹介し、クヌギからしみ出す樹液に集まるスズメバチやカブトムシ、ハトの羽をむしり取るオオタカ、共同トイレを持つタヌキなど身近な生きもののくらしのようすと里山のつながりを見てください。

8. 「まちの中の石材」

街の中には、ビルの外壁、神社の鳥居や狛犬、公園の縁石や石碑、住宅の塀や生け垣の基礎、庭の飛び石など、様々な場所にいろいろな石材が使われています。富士山や箱根の溶岩、丹沢の七沢石は、江戸時代から生活の中でさかんに利用されてきました。相模川や酒匂川などの河川敷からも、かつて玉石が採取され、石垣などに使われてきました。こうした石材にも、相模川流域のなり立ちや日本列島の誕生、地球の歴史を示す様々な情報が隠されています。日本には存在しない20億年も前の地球創世紀の太古の大陸の様子を想像することもできます。このコーナーでは、こうした平塚の街の中で見られる石材にスポットを当て、実物標本と利用写真を組み合わせて展示を構成しました。石材のサイコロを手にとって観察したり、パソコンで調べたりすることもできます。

1. 「博物館へようこそ」

博物館には、1976年の開館以来多くの資料が集められてきました。それらの資料を、調べたり、比べたり、読みとったりすることで、私たちは自分の住んでいるまちや、その近くの川や山について多くのことを知ることができます。

資料は、分野別に整理されて収蔵室に保管されており、常設展示のほか特別展や寄贈品コーナーで紹介されています。このコーナーは、「博物館にはこんな資料もあるよ」ということを知っていただくねらいで作りました。その中にあなたが興味を持つものがあつたら、館の別の展示の中でその資料を探し、さらにくわしく観察してみてください。

2. 「もっと知りたい私たちのまち」

このコーナーは、昭和22年と平成16年に撮影した2枚の航空写真を掲げ、およそ60年間で地域がどのように変貌したかを紹介しています。22年撮影の写真には、まだ空襲の傷跡が生々しく残っています。市街地はバラック住宅が立ち並び、崇善小学校や港小学校は焼失したままになっています。現在の総合公園の所には、第二海軍火薬廠の施設がほぼ戦前の状態のまま残されており、軍需都市平塚が受けた空襲の被害がいかに甚大であったかをあらためて伝えます。

また、コーナーの一角にモニターを設置し、航空写真を見る際のヒントを紹介しています。内容は、①プロローグ、②戦災と軍需工場、③戦災復興と七夕まつり、④須賀湊、⑤減りゆく浜辺、⑥相模川の氾濫源と工業団地、⑦砂丘の土地利用、⑧真土大塚山古墳、⑨田園、⑩丘陵の開発、⑪変わらないもの、⑫学校の変遷の12テーマからなり、新旧航空写真をクローズアップして対比させたり、昭和20年代の暮らしぶりを写真で伝えたりしています。航空写真からどんな情報を引き出すかは、あなた次第です。それぞれの楽しみ方を見つけたいと思います。

4. 「海と山を結ぶ鳥ーアオバトー」

アオバトは、日本の鳥の中では珍しく、全身緑色をしたハトです。オスの羽にはブドウ色の部分もあって、たいへん美しい種類です。大磯町照ヶ崎海岸の岩場には、毎年初夏から秋にかけて、アオバトの群れが海水を飲むために飛来します。多い時には200羽を越すような群れも見られ、多くの人が観察を楽しんでいます。このアオバトはおもに丹沢山地から飛来すると考えられていますが、なぜ海水を飲むのか、毎日同じ鳥が来るのか、冬に海水を飲まないのはなぜかなど、分からないことが多く、その謎を解こうと調査を続けているグループがあります。



3. 「相模川流域をさぐる」

平塚の母なる川・相模川は富士のすそ野に源を発し、丹沢の山々の間をぬって、広い相模平野となり、相模湾に注いでいます。平塚市博物館はその相模川によって作られた大地の自然や、それを舞台に繰り広げられてきた人々の暮らしをテーマにしています。ここでは、相模川流域の地模型に、流域の地形・なりたち・動植物などの自然や、縄文時代から現在までの私たちの暮らしに関わる情報を重ね合わせました。地模型と押しボタンやパソコンでの画像とが連動していますので、相模川流域や平塚に関する様々な情報を引き出して見てください。

博物館カレンダー

2005年2月の行事

2	2	水	社寺と祭を調べる会	特研究室
2	3	木	星まつりを調べる会	講堂
			展示解説ボランティアの会	横浜歴博
2	4	金	古文書講読会	講堂
2	6	日	地質調査会	特研究室
2	10	木	湘南コケの会	講堂
			石仏を調べる会	特研究室
2	12	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
			天体観察会「カノープス」を見よう	湘南平
			古代遺跡を探す会	野外
2	13	日	水辺の楽校生きもの調べの会	水辺の楽校
			民俗探訪会「博物館まつり準備」	講堂
2	16	水	裏打ちの会	講堂
2	17	木	展示解説ボランティアの会	野外
2	18	金	古文書講読会	講堂
2	19	土	○ 自然の新聞を作る会	野外
			天体観察会「学習会」	特研究室
2	20	日	相模川の生い立ちを探る会	野外
2	24	木	植物誌調査会	講堂
			石仏を調べる会	特研究室
2	25	金	古文書講読会	講堂
2	26	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
			星まつりを調べる会	講堂
			地質調査会	野外

☆: 展示(無料)、プラネタリウム(観覧料) ○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 年間会員制

<参加者募集>

◎博物館常設展示替え工事見学会

博物館1階の常設展示替え工事の様子を見学します。

日時: 第1回2月5日(土) 13時~14時

第2回2月26日(土) 13時~14時

参加: 自由、当日博物館入口にお集まりください。

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時: 2月12日(土) 9時30分~11時

2005年3月の行事

3	2	水	社寺と祭を調べる会	特研究室
3	3	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
3	4	金	古文書講読会	講堂
3	5	土	天体観察会「春の星と銀河」	月光天文台
3	6	日	古代遺跡を探す会	野外
			地質調査会	科学教室
			天体観察会「春の星と銀河」「まつり準備」	月光天文台
3	10	木	湘南コケの会	野外
			石仏を調べる会	特研究室
3	11	金	古文書講読会	講堂
3	12	土	星まつりを調べる会	講堂
			地質調査会	野外
			◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
3	13	日	水辺の楽校生きもの調べの会	水辺の楽校
			民俗探訪会「博物館まつり準備」	講堂
3	16	水	裏打ちの会	講堂
3	17	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
3	18	金	古文書講読会	講堂
3	19	土	☆ プラネタリウム「ふたたび月へ」	プラネ室
			☆ 春期特別展「近世平塚への招待」(~5/8)	特展室
			☆ 寄贈品コーナー「草木の実とたね」(~4/27)	展示室
			◎ 開館記念「お囃子演奏会」	玄関前
			◎ 星を見る会「月と土星木星」	屋上・科学室
			天体観察会「まとめ・春の星」	屋上
3	20	日	◎ ろばたばなし	展示室
3	24	木	植物誌調査会	野外
			石仏を調べる会	特研究室
3	25	金	古文書講読会	講堂
			○ 雑貨団公演「惑星のルーブル」	プラネ室
3	26	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
3	27	日	相模川の生い立ちを探る会	野外
3	31	木	☆ 博物館まつり(~4/5)	市民プラザ

場所: 平塚虹ヶ浜海岸

参加: 自由(ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと)

○自然の新聞を作る会

動植物の観察をして、自然の新聞の記事を作ります。

日時: 2月19日(土) 13時~16時

場所: 立堀親水公園付近

参加: 2月10日までに往復はがきで申し込み(定員30名)

<常設展示替にともなう休館のお知らせ>

博物館1階常設展示の展示替工事にとまない、下記の期間休館とさせていただきます。

休館期間: 平成16(2004)年12月13日(月)~平成17(2005)年3月18日(金)

あなたと博物館 30巻11号 通算338号 発行 平塚市博物館 2200

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>